

がん感染症疾病対策課感染症対策係
 担当 西田、阿部
 直通：092-643-3597
 内線：3065

福岡県感染症発生動向調査感染症週報

令和5年第15週（令和5年4月10日～令和5年4月16日）

福岡県感染症情報センター

■ コメント

- 第15週は、RSウイルス感染症の報告が185件ありました。1定点医療機関当たりの報告数は1.54で、先週（0.88・速報値）と比べて約1.75倍に増えており、今後の動向に注意が必要です。RSウイルス感染症の症状は、軽い風邪様の症状から重い肺炎まで様々です。2歳までにほぼ全ての子どもが感染すると言われていますが、初めて感染し、発症した場合は重くなりやすいと言われており、特に乳児期早期（生後数週間～数カ月間）にRSウイルスに初めて感染した場合は、肺炎等の重篤な症状を引き起こすことがあります。RSウイルス感染症の感染経路は、飛沫感染と接触感染ですので、咳などの症状がある年長児や成人は、可能な限り0歳児と1歳時との接触を避け、接触する際はマスクを着用することが大切です。また、おもちゃなどの消毒にはアルコール製剤が有効です。
- 福岡県感染症情報ホームページ(http://www.fihes.pref.fukuoka.jp/~idsc_fukuoka/)では、感染症発生情報、病原体検出情報などがご覧になれます。

■ 全数把握疾患報告

病名	福岡県		全国（前週）	
	報告数	累積報告数	報告数	累積報告数
結核	9	161	175	3,274
レジオネラ症	1	12	21	341
カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	2	29	12	455
劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1	12	7	230
侵襲性肺炎球菌感染症	3	19	22	463
梅毒	10	209	173	3,785

※新型コロナウイルス感染症の最新の発生状況等は別紙をご覧ください。

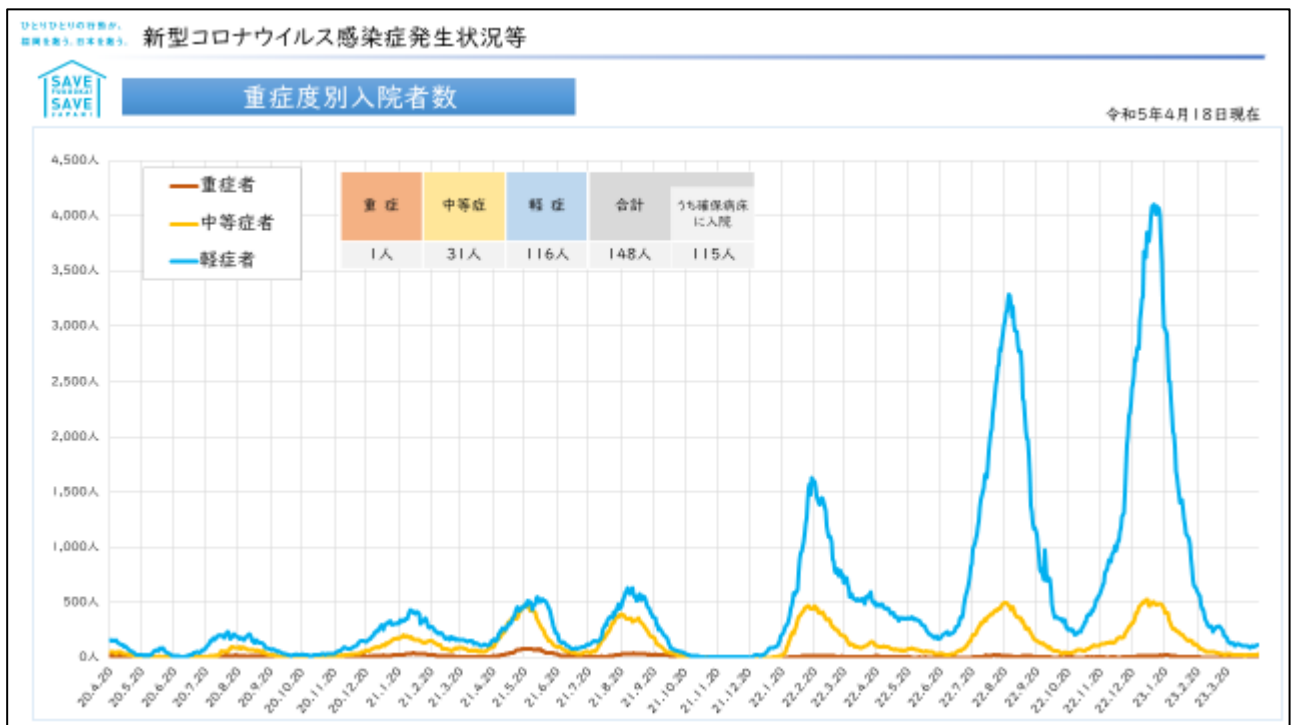
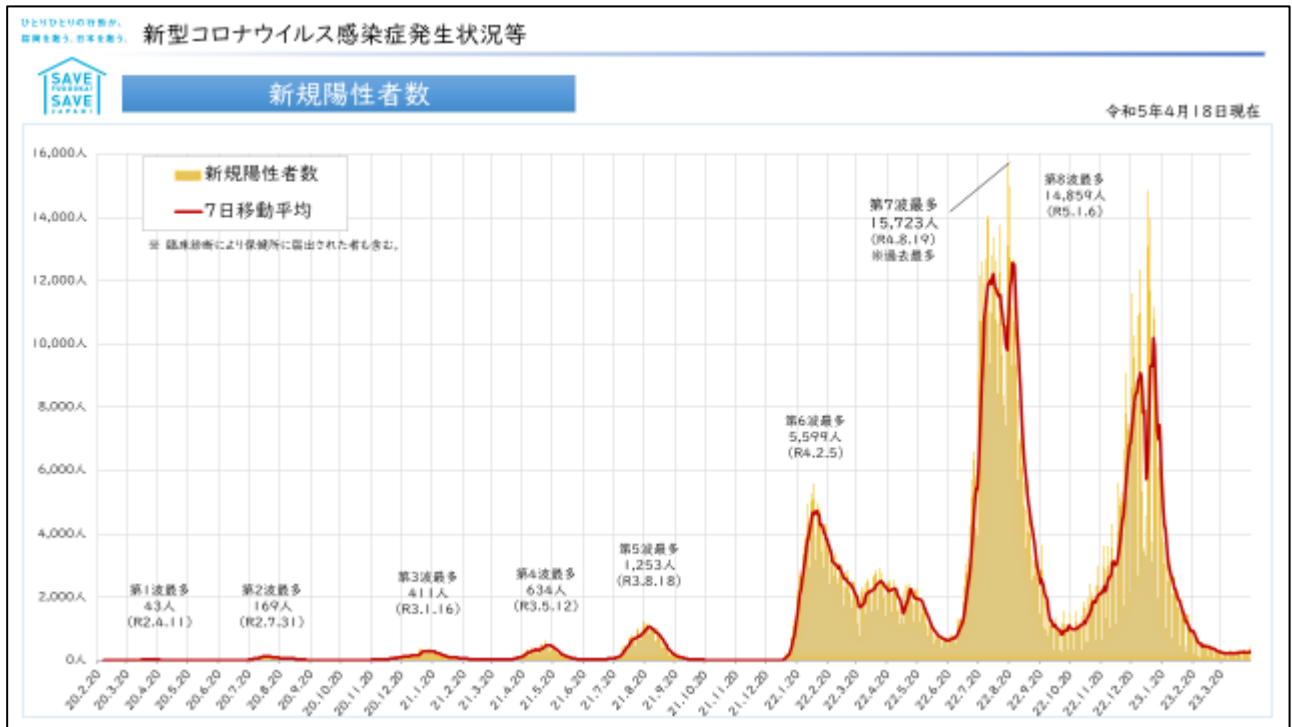
■ 定点把握疾患報告数

■ : 警報レベル

■ : 注意報レベル

病名	福岡県			全国（前週）	
	報告数	定点当たり	前週比	報告数	定点当たり
インフルエンザ	512	2.59	0.85	13,580	2.77
RSウイルス感染症	185	1.54	1.75	1,662	0.53
咽頭結膜熱	38	0.32	1.06	539	0.17
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	289	2.41	1.18	1,537	0.49
感染性胃腸炎	548	4.57	1.06	11,647	3.72
水痘	11	0.09	0.85	301	0.10
手足口病	20	0.17	1.82	295	0.09
伝染性紅斑	3	0.03	1.50	30	0.01
突発性発しん	54	0.45	1.32	752	0.24
ヘルパンギーナ	84	0.70	2.10	319	0.10
流行性耳下腺炎	7	0.06	2.33	95	0.03
急性出血性結膜炎	1	0.04	-	4	0.01
流行性角結膜炎	6	0.23	0.86	191	0.28
細菌性髄膜炎	0	0.00	-	7	0.01
無菌性髄膜炎	1	0.07	-	14	0.03
マイコプラズマ肺炎	0	0.00	-	10	0.02
クラミジア肺炎	0	0.00	-	-	-
感染性胃腸炎（ロタウイルス）	1	0.07	-	2	0.00

○県内における新型コロナウイルス感染症の発生状況等について



・福岡県では、下記のホームページにて随時、発生状況や感染予防策などの情報提供を行っています。

◇新型コロナウイルス感染症ポータルページ

<https://www.pref.fukuoka.lg.jp/contents/covid-19-portal.html>